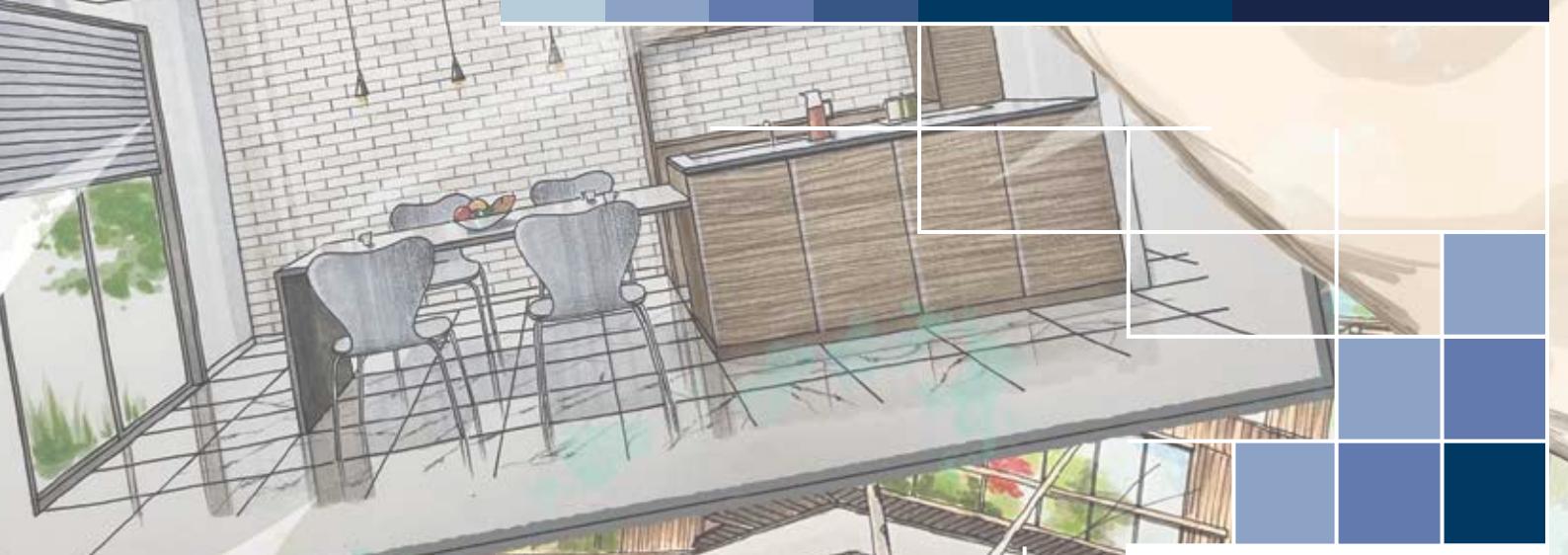




DIPLOMA2024

卒業作品集

活動報告



全国専門学校建築教育連絡協議会

CONTENTS 目次

ご挨拶

- 02 全国専門学校建築教育連絡協議会 会長 松田 正之
全国専門学校建築教育連絡協議会 役員一覧

活動報告

- 03 定例総会・在校活動発表会
04 秋季研修会
05 POSTER CONTEST
06 専門学校卒業作品展示会

卒業作品

- 07 青山建築デザイン・医療事務専門学校
08 国際情報工科自動車大学校
09 中央工学校
10 青山製図専門学校
11 読売理工医療福祉専門学校
12 専門学校東京テクニカルカレッジ
13 町田デザイン&建築専門学校
14 日本工学院専門学校
15 日本工学院八王子専門学校
16 浅野工学専門学校
17 新潟工科専門学校
18 東海工業専門学校金山校
19 大阪工業技術専門学校
20 修成建設専門学校
21 中央工学校OSAKA
22 岡山理科大学専門学校
23 麻生建築&デザイン専門学校

会員校/協賛企業・団体

- 24 全国専門学校建築教育連絡協議会 会員校一覧
25 協賛企業・団体一覧



全国専門学校建築教育連絡協議会

会長

松田 正之

全国専門学校建築教育連絡協議会は、全国工業専門学校協会の下部組織として平成7年(1995年)に設立されました。工業分野の専門学校のうち、建築系学科を有する専門学校の地位向上、ならびに教育の充実を図り、会員校の連帯と親睦を目的とした協議会です。これまで教育に関する調査・研究や、教員の資質向上のための研修等を行ってまいりましたが、この数年間はコロナ禍により活動が制限され、大変残念な思いがいたしました。

この作品集は、第24回専門学校卒業作品展示会に出品された、学生作品をまとめたものであり、当協議会の活動報告書を兼ねています。発行に際しましては、多くの企業・団体様からご支援を賜り厚く御礼申し上げます。末筆ではございますが、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

役員一覧 2024年度(令和6年度)

役職名

会長

副会長

幹事 常任幹事

幹事

事務局(会長校)

監事

氏名

松田 正之

白井 雅哲

野村 稔明

宗林 功

清水 憲一

見邨 佳朗

中村 聖吾

原 真佐也

今泉 清太

小川 貴之

原 智樹

田中 卓

宮野 人至

荒居 秀征

渡部 和久

生川 清孝

新井 長秀

山野 大星

所属

中央工学校

専門学校東京テクニカルカレッジ

東海工業専門学校金山校

大阪工業技術専門学校

日本工学院八王子専門学校

修成建設専門学校

中央工学校 OSAKA

浅野工学専門学校

麻生建築 & デザイン専門学校

読売理工医療福祉専門学校

筑波研究学園専門学校

広島工業大学専門学校

青山製図専門学校

東海工業専門学校金山校

新潟工科専門学校

中央工学校

青山製図専門学校

日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校



定例総会・在校生活動発表会

2024年度(令和6年度)定例総会

2024年度(令和6年度)定例総会が、6月8日(土)に浅野工学専門学校で開催されました。オンライン併用で17校が参加し、各議案が審議されています。併せて、第2回 在校生活動発表会をオンラインで実施しました。校舎見学会の後、情報交換を目的とした教育情報交換会を実施し、さらなる親睦及び交流の機会としています。

日時:2024年(令和6年)6月8日(土)13:00～17:30

会場:浅野工学専門学校

参加:参加校 計17校(会場14校・オンライン3校)・委任状10校

議案:第1号議案 2023年度(令和5年度)事業報告
第2号議案 2023年度(令和5年度)決算報告
第3号議案 2024年度(令和6年度)事業計画(案)
第4号議案 2024年度(令和6年度)予算(案)
第5号議案 2024年度(令和6年度)役員(案)



第2回 在校生活動発表会

日時:2024年(令和6年)6月8日(土)14:30～15:40

会場:浅野工学専門学校(オンライン)

発表:発表①「空き家問題プロジェクト(産学連携)」 広島工業大学専門学校

発表②「建築工学科 住宅設計コンペ」 東海工業専門学校金山校

発表③「近年の産学連携・地域連携の取り組み事例」 日本工学院八王子専門学校

発表④「学生寮改装プロジェクト(企業連携による問題解決型授業)」 専門学校東京テクニカルカレッジ



秋季研修会



秋季研修会

令和5年11月11日(土)に神奈川県横浜市の国指定名勝「三渓園」に訪れ、秋季研修会として見学会を実施いたしました。団体ガイドご担当者様からの説明により、建築的知見や歴史的背景を知ることで、勉強会として貴重な機会となりました。見学後、教育懇談会を開催し教育活動報告や情報交換により懇親を深めています。

日時:2023年(令和5年)11月11日(土)12:20~16:00

場所:三渓園

神奈川県横浜市中区本牧三之谷



参加校:参加会員校 計11校(24名)

中央工学校

青山製図専門学校

専門学校東京テクニカルカレッジ

日本工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校

新潟工科専門学校

東海工業専門学校金山校

修成建設専門学校

中央工学校OSAKA

広島工業大学専門学校

麻生建築&デザイン専門学校
(順不同)



POSTER CONTEST

ポスターコンテスト

「第24回 専門学校卒業作品展示会」のポスターコンテストに、会員校8校から学生作品123点の応募がありました。審査は会員校12校の教員32名の投票で行われ、最優秀賞1点・優秀賞2点・入選点7点が選出されました。

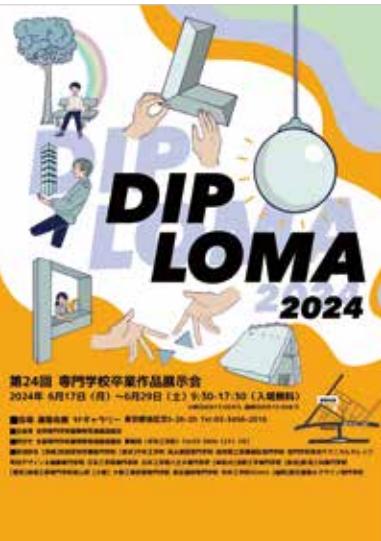
応募校：応募作品 123点 参加 8校 *応募順
東海工業専門学校金山校
新潟工科専門学校
日本工学院専門学校
中央工学校OSAKA
中央工学校
青山製図専門学校
日本工学院八王子専門学校
専門学校東京テクニカルカレッジ



最優秀賞

松尾 まりん
(東海工業専門学校金山校)

優秀賞



勝野 潶
(新潟工科専門学校)

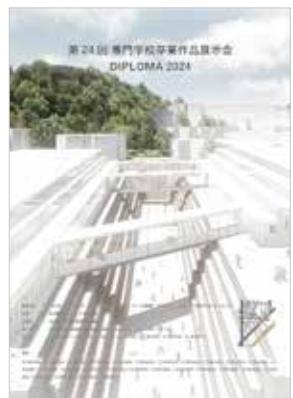


上村 珠央
(新潟工科専門学校)

入選



大槻 弥々
(日本工学院専門学校)



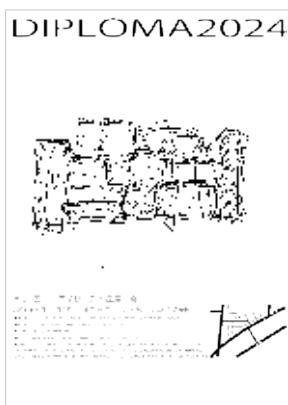
佐藤 倭
(日本工学院専門学校)



森 泰高
(日本工学院専門学校)



相澤 智浩
(中央工学校)



清宮 菜子
(中央工学校)



宮元 詩乃
(日本工学院八王子専門学校)



大川 紫主
(日本工学院八王子専門学校)

専門学校卒業作品展示会



第24回 専門学校卒業作品展示会

第24回目を迎えた「専門学校卒業作品展示会」は、会員校から15校が参加し卒業作品のプレゼンテーションボードや建築模型が展示されました。ポスター・コンテストの入賞作品や、応募作品もパネル展示されています。

日時：2024年(令和6年) 6月17日(月)
～6月29日(土)／9:30～17:30 (入場無料)

会場：建築会館 1階ギャラリー
(東京都港区芝5-26-20)



展示校15校

青山建築デザイン・医療事務専門学校
中央工学校
青山製図専門学校
読売理工医療福祉専門学校
専門学校東京テクニカルカレッジ
町田デザイン&建築専門学校
日本工学院専門学校
日本工学院八王子専門学校

浅野工学専門学校
新潟工科専門学校
東海工業専門学校金山校
大阪工業技術専門学校
修成建設専門学校
中央工学校OSAKA
麻生建築&デザイン専門学校
※卒業作品掲載順



東旭川駅～新幹線開通と共に旭川市の活性化を図る～

青山建築デザイン・医療事務専門学校 建築設計デザイン科 デザインコース
神山 巧巳



■ Concept

2030年に札幌に新幹線が開通し、北海道全域にも新幹線が開通するのも近い未来になりつつある。そこで自分の地元である旭川市に新幹線が開通したことを想定し、新しく「東旭川駅」を計画した。旭川市も人口が減少し、過疎化の一途をたどっているが、新幹線が開通することで交通の便も良くなり、旭川駅や旭川空港などの利用者、旭山動物園などに行く観光客、リモートワークをする移住者などが利用することにより、旭川市の活性化を図ることを考えた。

■ 構造材を木材

旭川では自然環境に恵まれており、良好な木材が手に入りやすい。そこで内装の装飾には旭川家具などで使用され、ミズナラを使し旭川市を象徴するような建物となるようにした。構造材をCLTとし、柱部分は燃え止まり型と耐火性能を確保した。

■ ミズナラについて

ミズナラは旭川家具で多く使用されており、旭川を象徴する木材となっている。北海道から九州までの日本各地に生息している落葉広葉樹であり幹や枝に水分を多く含まれており、燃えにくく。また秋になると3cmほどのどんぐりができる。心材と辺材の境界がはっきりしていて、年輪もはっきりしている。



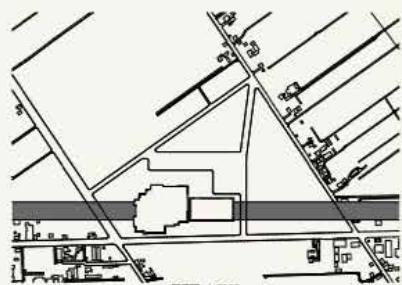
■ 各駅配置・路線計画

- 札幌市から旭川市を通り帶広、釧路まで新幹線を開通する計画。
- 今回は、「東旭川駅」を設計。旭川市は川が多く地盤が弱いので地下トンネルではなく高架橋で市内を走行予定。また、旭川空港や旭山動物園、東川町などに行き来しやすいうように東旭川側に新しい駅を設計。市街地から少し離れた位置に配置し、東旭川側を活性化させ市全体の活性化を図る。
- 北海道全土に新幹線を開通させることで交流の頻度が上がりイノベーションなども活発になり新しいビジネスが生まれる可能性がある。また運送にも使い北海道と本州をつなげる役割も考えられる。そうすることで災害の抜本的な備えになり、日本をより強靭にできると考えられる。

■ 敷地計画

北海道旭川市東旭川町共字223-5

敷地面積	62,982.94 m ²
建築面積	26,540.59 m ²
建ぺい率	42%



[CONCEPT]

2030年に札幌に新幹線が開通し、北海道全域にも新幹線が開通するのも近い未来になりつつある。そこで自分の地元である旭川市に新幹線が開通したことを想定し、新しく「東旭川駅」を計画した。

旭川市も人口が減少し、過疎化の一途をたどっているが、新幹線が開通することで交通の便も良くなり、旭川駅や旭川空港などの利用者、旭山動物園などに行く観光客、リモートワークをする移住者などが利用することにより、旭川市の活性化を図ることを考えた。

北海道全土に新幹線を開通させることで交流の頻度が上がりイノベーションなども活発になり新しいビジネスが生まれる可能性がある。また運送にも使い北海道と本州をつなげる役割も考えられる。

そうすることで災害の抜本的な備えになり、日本をより強靭にできると考えられる。

[作品・制作データ]

建築用途	駅舎
敷地所在地	北海道旭川市
敷地面積	62,982.94m ²
建築面積	26,540.59m ²
延べ面積	70,181.18m ²

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	ArchiCAD

日常を近くに ~一時帰宅を許可された際に当たり前の日常を味わえる空間~

国際情報工科自動車大学校 建築デザイン科
永山 夏帆

日常を近くに

～入院時、一時帰宅を許可された際に当たり前の日常を味わえる空間を～



[CONCEPT]

私は、高校生の時に長期の入院を余儀なくされ、遠方にある茨城県立こども病院に入院しました。私の家族も含め、病院に入院しているほとんどの家族が遠方から通っており、また仕事終わりに夜中に病室へ来て深夜に帰る家庭もいました。ですが、病院内には付き添いの方のための空間も、こどもと一緒に休めるスペースもありませんでした。当時高校生の私は、入院中社会から「孤立」しているようを感じ、自分で何かできるようになりたいと強く思いました。なので私はこの経験より、入院しているお子さんたちのための空間を、こどもと一緒に、家族として過ごせる空間を計画しました。

[作品・制作データ]

建築用途 診療所の機能を備えたコミュニティ施設
敷地所在地 茨城県水戸市

制作期間 5ヶ月
使用ソフト Archicad Illustrator Picsart
Photoshop Twinmotion

中央工学校 建築設計科 清宮 菜子

Porous

Concept

街に大きな箱が並び、その隙間に生きる空間が生まれている。それは地盤にそして属性はできることにある隙間をもつていて、その隙間に生きる空間として、街の魅力が生まれている。今の街は駅から近いところ、駅周辺の商業施設で生まれてやがては、街の空間はコンクリートで埋め尽され、生きる隙間を失っている。街の空間には生きる隙間を守りたいが、住む空間の隙間を守りたいと思う。そこでは、この箱の隙間生きる空間の「ボックス」を育てる。街の空間と店舗、各箱とオフィスと連絡する隙間でのなくランダムに配置してその隙間に生きる空間を人々の発見と心の発見とした。

Porous = 空隙・気泡・巣穴

更バーエ生の空間環境 → 人の活性領域とは建物の中に限定せぬもの空間にも生ずる
箱と箱の隙間でもう少し人は人の場所が生まれる隙間の空間の隙間を守るために隙間が作られる

Site



Diagram



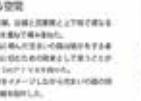
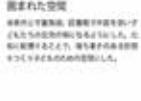
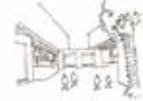
箱の隙間に生きる空間に生きる隙間が誕生してしまう隙間が作られる。その隙間に生きる空間。
街の空き地、駅までの道、狭い通りなどを隙間を作りながら活性化させてください。
この箱は、決して今まで数えてきてなく日本全国にある住宅と商店の隙間でなく街全体で活性化する空間である。

箱の用途構成

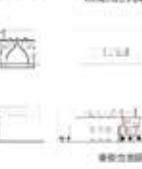
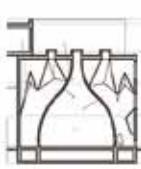
住まいの箱
物販りの箱、パティオ、隣接、敷地内
展示会場のギャラリー
歩行の箱、歩行者、商業街、ショッピング
車の箱、駐車場
花の箱、花壇
子どもの箱、子供たち
子ども用、子供、遊具場
本の箱、図書館
街の箱、リーフバーガー



空間構成



Method



[CONCEPT]

現在の日本では住宅街と商店街とで区分されている地域が多く、合理的に区画されている。しかし、合理的に区画された街区には窮屈さや退屈さを感じ、街としての魅力に欠ける。そこで、住宅と商業のcomplexを提案する。従来の住宅と店舗、店舗とオフィス等と区画するのではなくランダムかつ積み重ねるように配置して、その隙間に生じた空間を人々の拠所になるように計画した。

Porousとは、「空隙・気泡・巣穴」という意味を持つ。人の居場所は、建物の内部だけに限定されるのではなく、外の空間にも発生する。箱と箱の間にできた隙間には人の場所が生まれ、地域住民の居住区域になり得るという意味がこめられている。

[作品・制作データ]

建築用途	住宅・商店複合施設
敷地所在地	埼玉県さいたま市岩槻区
敷地面積	4,095.34m ²
建築面積	2,814.27m ²
延べ面積	4,592.56m ²

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	AutoCAD Photoshop Illustrator Twinmotion

なみ間が生み出す島民の居場所 / 有るもので無いものを作る

青山製図専門学校 建築学科 建築設計コース

生駒 ひなた / 齋藤 優介



[CONCEPT]

卒業設計をするにあたって普段、人やモノ、情報であふれた都心で活動している中で本来の人として‘ゆたかさ’のようなものから離れていてどこか窮屈さを感じていることに気がついた。離島としての‘ゆたかさ’を持つ大島を敷地として選び、船客待合所としての機能と島民の居場所になる要素を併せ持つ新しいカタチのターミナルを提案する。(生駒 ひなた)

黒島特有の建築の要素を抽出し、プログラムに合わせて変換したり捉えなおしたりしながら設計をしていくということをしました。これまでの文化を壊して新しいものを作り続けていくのではなく、黒島の風土に寄り添った建築(有るもの)で、風景を守りながら芸術を通して交流のきっかけ(無いもの)を作れればと考えています。(齋藤 優介)

[作品・制作データ]

建築用途 船客待合所
敷地所在地 東京都大島元町

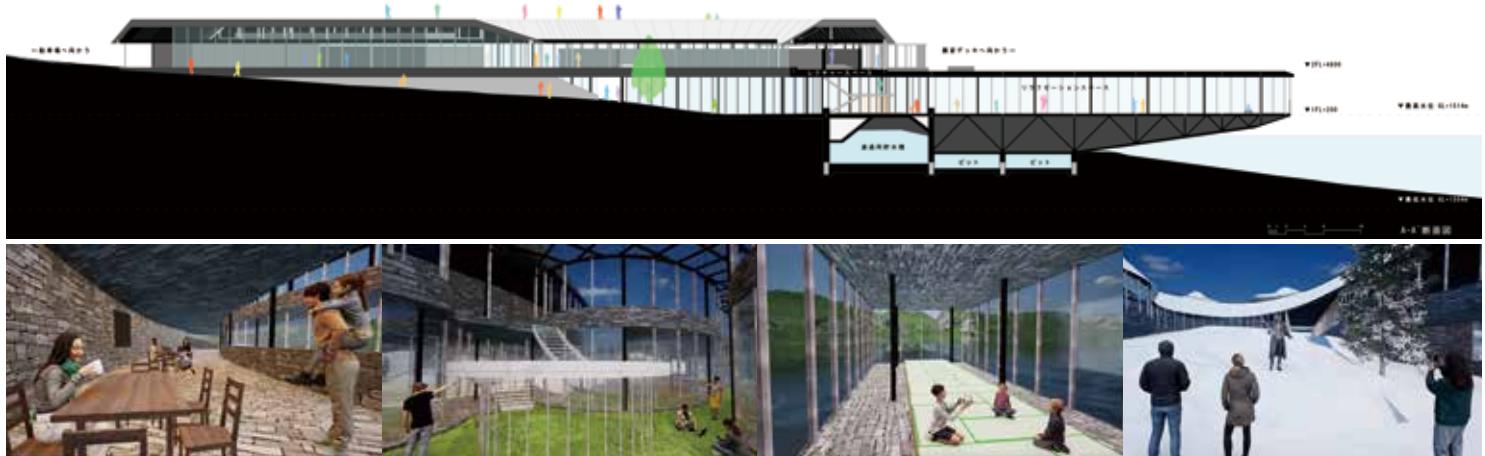
建築用途 アーティストインレジデンス
敷地所在地 石川県輪島市黒島

制作期間 4ヶ月
使用ソフト AutoCAD Photoshop
Illustrator Revit Lumion

ライフステーション～5か月間の逃避行～

読売理工医療福祉専門学校 建築学科

金原 未歩



[CONCEPT]

現代は以前にも増して多種多様な選択ができるようになった。技術的にも仕組み的にも自由度が増し生活水準が高まった。だが、選択の幅が広がれば広がるほど日々ストレスに感じるのは何故だろう。現代の社会生活には際限がない。

更新・集積され続ける情報/断片化されたコミュニティ(コミュニケーション)/多種多様な価値観/それらを我々は無意識に集団生活の中で共有し続ける。そんな現代の生活はとても速く、達成感や充足感に欠けるように感じた。

本当に必要なモノ・コトは何だったのだろうか?現代の日常では気づけなかった生活を味わい経験することでからの未来に必要なモノ・コトを再確認し発見できる場として提案する。

[作品・制作データ]

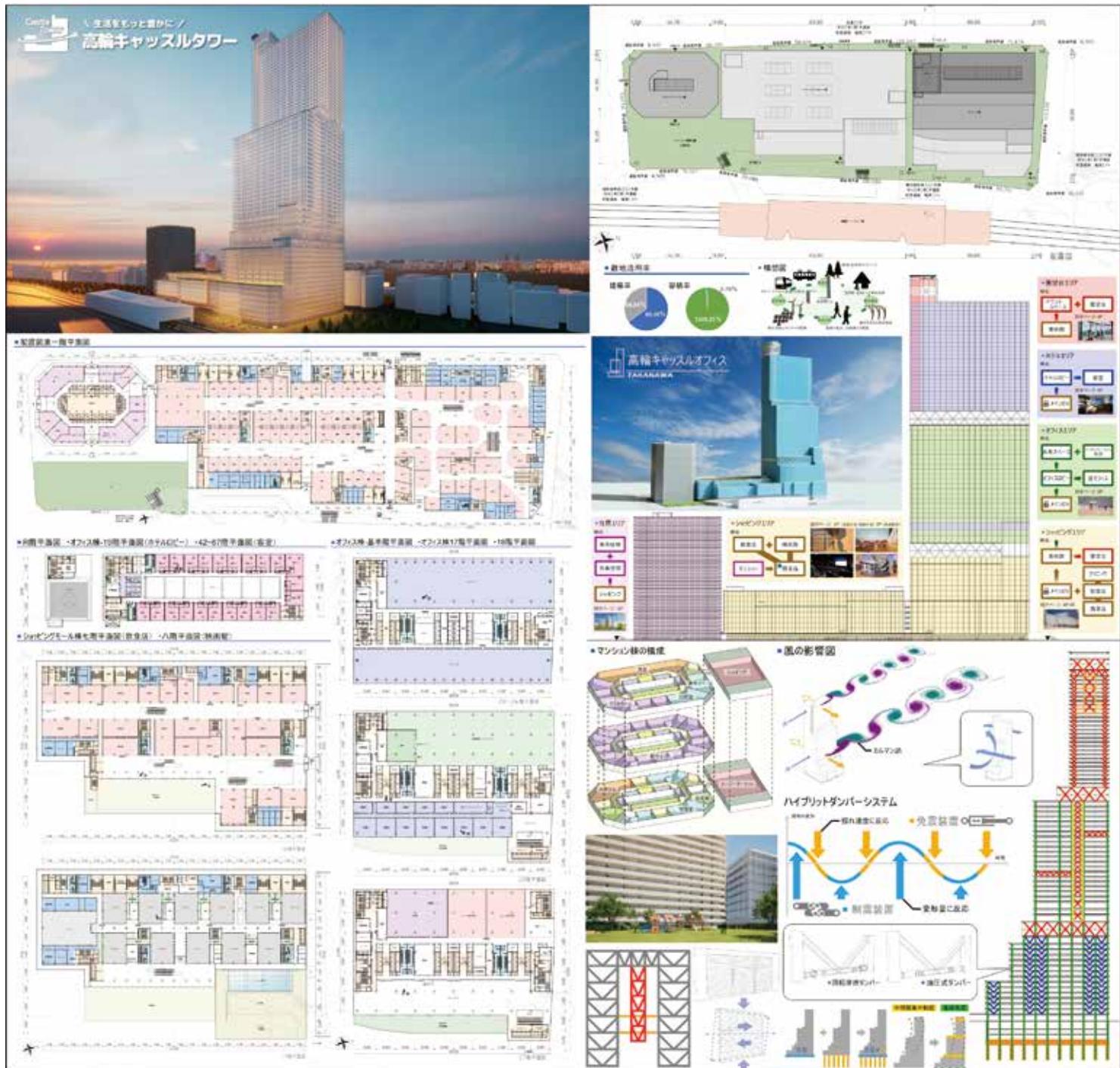
建築用途	研究所 宿泊所併設
敷地所在地	群馬県吾妻郡中之条町入山
敷地面積	7671.03m ²
建築面積	6329.96m ²
延べ面積	9614.048m ²

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	Vectorworks ArchiCAD Photoshop Illustrator

高輪キャッスルタワー ~生活をもっと豊かに~

専門学校東京テクニカルカレッジ 建築科

小倉 高志



[CONCEPT]

コンパクトシティの構想により商業施設の効果的な配置や施設デザインを通じて地域の利便性向上と時間短縮の実現を目指します。施設と交通機関をまとめた計画とすることでショッピング、娯楽施設、サービスへのアクセスが容易となり、住民の日常生活がスムーズで効率的になることが期待される。このアプローチは地域社会全体にポジティブな影響をもたらし、経済的な面での活性化を見込むことができる。またそれに付随して、都市の中心地であるため災害や事故に対する強固で包括的な防災中心拠点となるような構造計画となっている。これにより緊急時に住民や関係機関が集結し、的確かつ迅速な対応が可能な施設として機能する。建物やインフラの設計においては様々な防災対策が組み込まれており都市全体の安全性の向上に貢献している。これらの計画は都市の持続可能な発展と住民の安全確保を共に行うことができる施設として期待される。

[作品・制作データ]

建築用途	複合施設 (百貨店/オフィス/ホテル)
敷地所在地	東京都港区高輪2丁目21
敷地面積	46,252.10m ²
建築面積	30,138.54m ²
延べ面積	624,038.53m ²

制作期間	4ヶ月
使用ソフト	AutoCAD SketchUp Twinmotion Affinity Publisher

ひらくつどう むすぶ

町田デザイン&建築専門学校 建築設計科
白井 珠由



[CONCEPT]

近年、人と人が直接関わり、コミュニケーションをとる機会が減少したと考えます。このことに着目し、近隣住民に地域の交流の場所として地域に開き、住民が集うことで、人と人を結べるような公民館を設計しました。

建物を用途ごとに分け分棟にし、敷地の外周に合わせる形で建物を配置し、3つの建物に囲まれるように中庭を設けることで3つの用途が結ばれ、また程よい距離を保っています。建物内部も子供室と会議室の間に緩衝材となるようにSTUDY・図書コーナーを設けることで、両者が快適に過ごせるように、また交流が容易になるようにしました。建物には外壁に板張りにするなど、自然素材を多く使うことであたたかい印象になるようにしました。開口部が東側に多くある本館の屋根は、下屋を設けることで夏の暑い日差しを遮り、冬は日差しが入るようにしました。また屋根の下の空間にベンチを設けることで、住民の交流の場として有効に利用できるようにしました。

[作品・制作データ]

建築用途	公民館
敷地所在地	神奈川県川崎市
敷地面積	2193.03m ²
建築面積	533.28m ²
延べ面積	533.28m ²

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	Jw_cad

斜面に住もう ～パッチワークのような豊かな暮らし～

日本工学院専門学校 建築学科
小川 永遠



[CONCEPT]

日本では、少子高齢化や母子家庭の貧困、独居老人増加などの問題が深刻化している。母子家庭では子供を預ける場所が不足しており、母親の就労復帰を阻む一因となっている。新しい住宅のあり方を模索する動きもあり、コレクティブハウスなどの共同住宅で子供の世話を共同で行い、母親の支援をする例もある。働き方や暮らし方の変化により、このような社会問題の解決と共に、少子高齢化などの課題に対する新たな建築的アプローチが期待されている。健康寿命の重要性も増しており、フレイル(虚弱)という概念が注目され、適切な支援や生活習慣の改善が重要視されている。これらを踏まえ、暮らしているだけで健康が保てるコレクティブハウスを計画した。生活の中で運動が生まれるように段差を意図的に作り、地の道と空の道(屋根)を計画した。敷地の中を散歩しながら人との交流が生まれる様に小さな空間を点在させ、若者から高齢者まで関わりあいながら住まうまちを目指した。

[作品・制作データ]

建築用途	コレクティブハウス
敷地所在地	千葉県千葉市中央区
敷地面積	11,266.14m ²
建築面積	2,32236m ²
延べ面積	2,32236m ²

制作期間 7ヶ月
使用ソフト Vectorworks

海苔のまち

日本工学院八王子専門学校 建築設計科
高橋 萌々花

海苔のまち



[CONCEPT]

現代の東京では江戸の原風景は失われてしまった。静かでゆったりと流れていた時間は、毎日せわしく流れてしまっている。電車と自転車のスピードは都市の変化のスピードである。そして、特に自動車は環境面でも少なくしなければならないインフラである。この計画は、現代の東京では失われてしまった水運を日常生活に復活させる。脱炭素化を目指す東京都は二酸化炭素を発生させづらい船の利用を2022年から検討を始めている。移動の選択肢を増やすことで、自動車の渋滞や、満員電車の緩和を誘発することができる。また、近年重要視されているインバウンドの需要などを考え、その土地由来の海苔を観光資源とできることで、地元の生活と観光客が混ざり合うような施設を考える。

新しい海の街としての「東京」を大森を起点に変えていくような計画である。

[作品・制作データ]

建築用途	複合体験施設
敷地所在地	東京都大田区大森東
敷地面積	4,000.00m ²
建築面積	1571.00m ²

制作期間 3ヶ月
使用ソフト ArchiCAD Photoshop
Illustrator

あなたのME ~都市生活における日常の映画制作的リノベーション~

浅野工学専門学校 建築工学科
谷米 匠太



[CONCEPT]

現代都市の日常は、無意識に身体化されその価値は見えづらくなっているのではないか。そのようなふとした疑問からこの作品は生まれた。無意識に身体化された現代都市の日常の価値を再認識するきっかけとなることを目指し、私たちの身の回りに存在している他者や環境と、自分の世界が関係する瞬間[シーン]を経験することが重要であると考え、私生活の日常的な3つの場所(道、駅、公園)を映画をつくるようにリノベーションをした。具体的には、[シーン]を経験するためのセットを日常の中に断片的に計画し、私たちの日常に介入する作品をオムニバス映画として表現した。建築の全体性は、映画を鑑賞することで少しづつ繋がり出し、日常の瞬間[シーン]として日常の『ストーリー』の中で表われる。

[作品・制作データ]

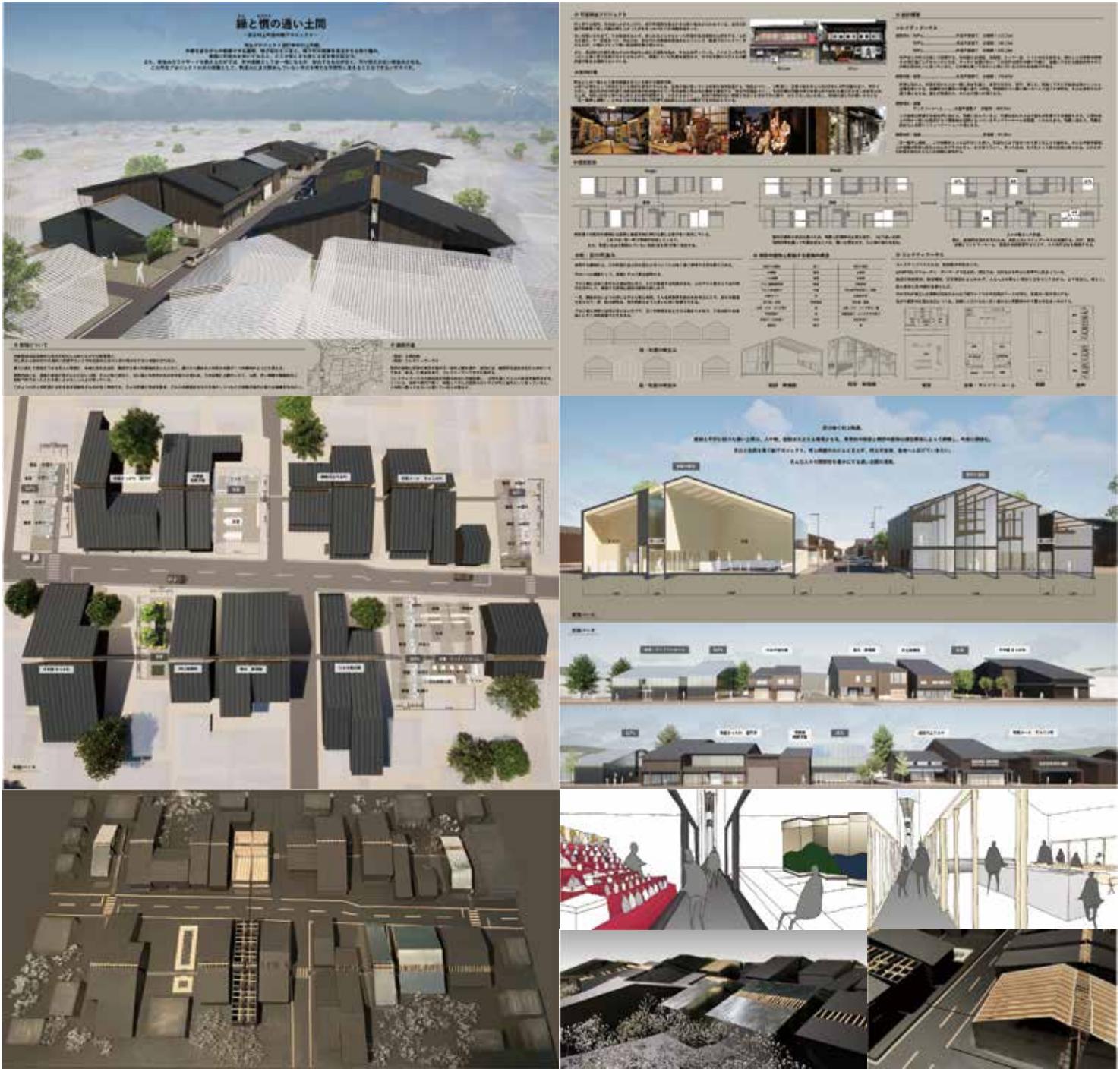
建築用途 バス停、トイレ、など
敷地所在地 神奈川県横浜市

制作期間 1年間
使用ソフト Vectorworks Photoshop
Illustrator Premiere Pro

えん ならわし
縁と慣の通い土間　－巡る村上町屋の新プロジェクト－

新潟工科専門学校 建築士学科

森谷 望杏
山浦 美咲



[CONCEPT]

再生プロジェクト進行中の村上町屋。外観を昔ながらの板張りや瓦屋根、格子窓などに変え、城下町の風情を復活させる取り組み。しかし、町並みのファサードを揃えるだけでは、町の景観としては一様になるが、突出するものがなく、代り映えのない町並みとなる。この再生プロジェクトの次の段階として、町並みにまだ馴染んでいない余白を新たな可能性に変える。道路と平行に設ける通り土間。人や物、伝統文化さえも循環させる。異素材の新設と既存の建物は相互関係によって調和し、町屋に馴染む。文化と住民を繋ぐ新プロジェクト。村上の町屋のみにとどまらず、村上市全体、各地へと広げていきたい。そんな人々の関係性を豊かにする通り土間の提案。

[作品・制作データ]

建築用途	コレクティブハウス
敷地所在地	新潟県村上市
敷地面積	7,521.98m ²
建築面積	860.54m ²
延べ面積	860.54m ²

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	AutoCAD REVIT Twinmotion Photoshop

自然に集う～揺らぎ、せせらぐ道の駅～

東海工業専門学校金山校 建築工学科 自由設計コース
武市 凜太郎



[CONCEPT]

歴史と自然にあふれる町、御油町。江戸時代には宿場町として栄え、現在でもその面影が残る。自然の移ろいを感じることで場所の魅力を発信し、この町を知るきっかけとなる場所を提案する。道の駅として広域の人々を呼び込むだけでなく、バス停へ訪れる地域住民、自然豊かな松並木公園の利用者という三者の利用を想定し、各利用者を絡めた計画とすることで「休憩・情報発信・地域との連携」の機能を果たし、多くの利用者とその交流を促す。公園の次期整備エリアとなっている空地と隣接する古民家を活用し、飲食棟、情報物産棟、味噌作り体験施設、古民家をコンバージョンしたエントランス等を計画し、まちの魅力を発信する地域交流拠点となることを目指した。

[作品・制作データ]

建築用途 地域交流拠点(道の駅)
敷地所在地 愛知県豊川市御油町

制作期間 6ヶ月
使用ソフト Jw_cad ArchiCAD
Photoshop Illustrator

表参道は続いてゆく…

大阪工業技術専門学校 建築学科 設計専攻 意匠コース
川島 快斗



[CONCEPT]

住吉大社にはかつて、大阪湾から続く表参道がありました。その表参道は一部が住吉公園として形を変えて残されています。その一方、道路による分断や建造物の高層化により、住吉大社からの繋がりを感じることが難しいです。前表参道の両側を2階建て店舗兼住宅が並んでいますが、その建物は古くなり、周囲にはビルやコンビニエンスストアが建つようになり、この地域の特色である表参道の雰囲気が途切れています。同じ表参道がある住吉大社と住吉公園が繋がると、新たな神社・公園の使い方が出来るかもしれません。その為に、お互いの利用者を迎える建物を2つの間に計画し、擬似的に表参道を復活させます。

[作品・制作データ]

建築用途 複合商業施設
敷地所在地 大阪府大阪市住吉区長狭町

制作期間 4ヶ月
使用ソフト AutoCAD ArchiCAD
Photoshop Illustrator

鄙の拠り所 ~町を活性化させるために…~

修成建設専門学校 建築CGデザイン学科 CGデザインコース
森本 哲太



[CONCEPT]

私がこのような卒業設計を制作した理由は「地元愛」から生まれました。三重県名張市はとても田舎で観光地が少なく、知名度が低い地域であるため、訪れる人も少なく存在が十分に認識されていません。この状況を改善し、町の魅力を引き出すために、私は卒業設計の中で「町を活性化させるために…」というサブタイトルを選びました。名張市の地域の特徴などを活かした観光地を提案し、訪れた人々に地域の魅力を感じもらうことを目指しました。この施設はSNSなどで拡散能力が高い若者を中心来客してもらう為に映えるような見た目になるようこだわりながら作成しました。そして、期間限定でハロウィンやクリスマスなどのイベントの装飾をしたり、若者で流行しているものなどとコラボを計画したりすることでリピーターをつくれると考えました。

[作品・制作データ]

建築用途 複合コミュニティ施設
敷地所在地 三重県名張市

制作期間 6ヶ月
使用ソフト Revit Photoshop Illustrator Sketch up

石切りの遺産～悠久の時を超えて島へと続く道～

中央工学校OSAKA 建築学科 建築設計コース
長谷部 恒平

□CG・機能・デザイン

外観デザイン

全体的には石が積み上がったような外観であり、石が切り出された後の石山を表現している。商業施設は丸亀城の4層に積み上げられた石垣や、「溝筋式」という繋ぎ方を内部動線に組み込み、上階に上がっていくほど徹底的に小さくなるようなデザインとした。

SHOPPING

Axis Road

海側の軸線上

自由通路内の軸線上

お城側の軸線上

□街の回遊性概略図

□島、海から丸亀城への軸線概略図

□丸亀市内エリア

□博物館棟 2階展示室

部屋全体は鎧めの無窓空間として石切り場の坑道を想起させる。展示室内では石材の展示と使用例のパネル展示を行う。

□石刀ワークショップ例

穴穴技法による石刀ワークショップ例

博物館の展示だけでなく、採石技術の変遷をたどる体験機械も設ける

□島、海から丸亀城への軸線概略図

□作品・制作データ

建築用途	複合施設(博物館棟、商業施設棟)
敷地所在地	香川県丸亀市
敷地面積	7,918.00m ²
建築面積	2,688.00m ²
延べ面積	4,555.00m ²

制作期間	4ヶ月
使用ソフト	ArchiCAD Photoshop Illustrator Twinmotion

[CONCEPT]

香川県丸亀市は本土と塩飽諸島などを含む島しょ部で構成されており、その島しょ部はかつて石の丁場として栄えていました。それらの島々への関心を持たせるとともに、本土の市街地の回遊性を促進するための計画を提案します。そのために基軸となる軸線を設定して、石の博物館と商業施設の複合施設及び外構の設計を行いました。

学生で賑わう街

岡山理科大学専門学校 建築学科
出平 和也

学生で賑わう街

A city bustling with students



01 concept

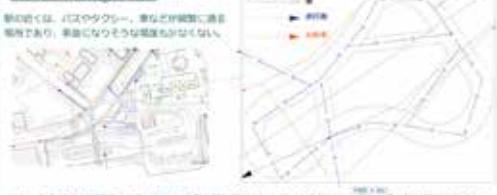
本設計は、津山市の駅周辺を計画予定地として選んだ。その背景として、私自身が3年間ほど通学で利用しており地元に詳しいからである。私が感じた良いところ、悪いところを本設計に反映させていく。学生の多いこの街に、学生のための建物を3つ設計した。まず1つ目は津山駅の改良。2つ目は駅の周辺にカフェ、ファストフード、図書館などが入った複合施設。3つ目は誰でも気軽に使えるパブリックスペース（公園のようなもの）。次に駅周辺は、学生が多く、朝の通勤通学時にかなり混雑している。そのため、自転車と歩行者、車との事故防止のために歩道橋（ペデストリアンデッキ）を設置した。今回設計した建物は木材を使用し、木造とRC造を合わせたハイブリッド構造とした。

最後に、私が生活してきた街『津山市』の良さを生かしつつ、学生が不便なく暮らせる街、学生でにぎわう街、笑い声が絶えない街という、こうなったら良い街という私の願望を含め、本設計に至った。

02 Assignment location



03 diagram



01 tsuyamaSTATION



02 A place in nature



03 public space



[CONCEPT]

本設計は、私が3年間通学で利用した津山市の駅周辺を計画地として選び、私が感じた良いところ、悪いところを反映させ、学生の多いこの街に学生のための建物を3つ設計した。1つ目は津山駅の改良、2つ目は駅の周辺にカフェ、ファストフード、図書館などが入った複合施設、3つ目は誰でも気軽に使えるパブリックスペース（公園のようなもの）である。また、現在の駅周辺は、朝の通勤通学時にかなり混雑しているため、自転車、自動車との事故防止のために歩道橋（ペデストリアンデッキ）を設置した。今回設計した建物は、津山市の特産品のひとつである木材（ヒノキ）を使用した木造とRC造を合わせたハイブリッド構造とし、私が生活してきた街『津山市』の良さを生かしつつ、学生が不便なく暮らせる街、学生でにぎわう街、笑い声が絶えない街となるように提案した。

[作品・制作データ]

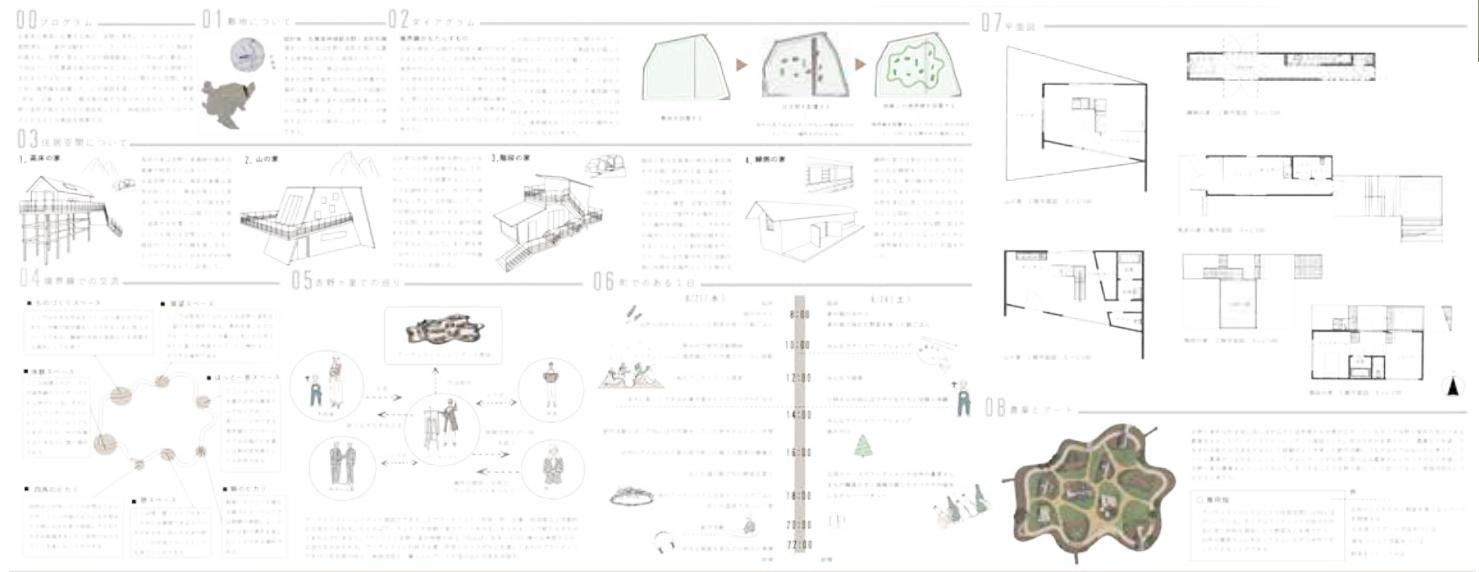
建築用途 駅、複合コミュニティ施設
敷地所在地 岡山県津山市

制作期間 6ヶ月
使用ソフト ArchiCAD

境界でひらく

麻生建築＆デザイン専門学校 建築工学科

槇 恵梨花



[CONCEPT]

地元・吉野ヶ里町にアーティストが一定期間滞在し、創作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス施設を計画した。吉野ヶ里町ならではの価値創造として田んぼに着目した。アートと農業を組み合わせることによって新たな価値が生まれるのではないかと考えた。また境界線の可能性についても考えた。閉じるため・侵入を防ぐために作られる境界線は場所によっては何かがある・入ってよい場所と知らせる為のものになるのではないかと考えた。その為さらに開かれた場所にするために境界線を設置した。この施設を通してアーティスト・農家・町民・企業・まち・観光客の新たな巡りが生まれる。そして吉野ヶ里町が新たな文化の発信地となる。地域活性化の1つのカタチとなるような施設を提案する。

[作品・制作データ]

建築用途	アーティスト・イン・レジデンス施設
敷地所在地	佐賀県吉野ヶ里町
敷地面積	約11520.00m ²
建築面積	483.90m ²
延べ面積	613.70m ²

制作期間	6ヶ月
使用ソフト	ArchiCAD Illustrator Photoshop Lumion

全国専門学校建築教育連絡協議会 会員校一覧

学校名	所在地	電話番号
日本工学院北海道専門学校	〒059-8601 北海道登別市札内町184-3	0143-88-0888
青山建築デザイン・医療事務専門学校	〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西14丁目	011-281-4155
国際情報工科自動車大学校	〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-15	024-956-0030
筑波研究学園専門学校	〒300-0811 茨城県土浦市上高津1601	029-822-2452
中央工学校	〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17	03-3906-1211
青山製図専門学校	〒150-0032 東京都渋谷区鷺谷町7-9	03-3462-1441
読売理工医療福祉専門学校	〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1	03-3868-0471
専門学校東京テクニカルカレッジ	〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3	03-3360-8881
東京工学院専門学校	〒184-8543 東京都小金井市前原町5-1-29	042-387-5500
町田デザイン&建築専門学校	〒194-0022 東京都町田市森野1-27-18	042-725-3465
日本工学院専門学校	〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22	03-3732-1367
日本工学院八王子専門学校	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1	042-637-3179
浅野工学専門学校	〒221-0012 神奈川県横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-0403
新潟工科専門学校	〒950-0932 新潟県新潟市中央区長潟2-1-4	025-287-3911
伝統文化と環境福祉の専門学校	〒952-1209 新潟県佐渡市千種丙202-1	0259-61-1122
東海工業専門学校金山校	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-7-19	052-332-6211
京都建築大学校	〒622-0041 京都府南丹市園部町二本松1-17	0771-63-1120
大阪工業技術専門学校	〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1-8-24	06-6352-0091
大阪建設専門学校	〒530-0052 大阪府大阪市北区南扇町3-16	06-6314-0261
修成建設専門学校	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30	06-6474-1644
中央工学校OSAKA	〒561-0872 大阪府豊中市寺内1丁目1-43	06-6866-0800
日本工科大学校	〒672-8001 兵庫県姫路市兼田383-22	079-246-5888
岡山科学技術専門学校	〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8-10	086-255-7171
岡山理科大学専門学校	〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3	086-228-0383
広島工業大学専門学校	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1	082-295-5111
麻生建築＆デザイン専門学校	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目11-13	092-415-2292
福岡建設専門学校	〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎6-15-34	092-651-2516
サイ・テク・カレッジ美浜	〒904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-5-16	098-926-1800

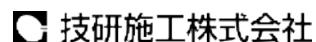
会員校28校



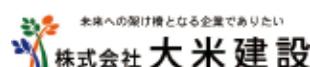
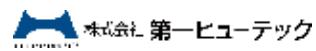
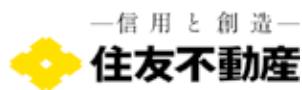
協賛企業・団体一覧

企業・団体名	所在地	電話番号
株式会社 イトーキ	〒103-6113 東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング	03-6910-3895
株式会社 今西組	〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町6丁目9番21号	06-6779-3361
株式会社 岩本組	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目53-2 BIZ原宿 2階	03-5830-1301
大林道路株式会社	〒101-8228 東京都千代田区神田猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル16F	03-3295-8863
川口土木建築工業株式会社	〒332-0012 埼玉県川口市本町4丁目11番6号	048-224-5111
関東建設インテリア事業協同組合	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-5-16 グランフォーブス鍛冶町ビル3F	03-3254-1138
技研施工株式会社	〒107-0062 東京都港区南青山7-3-1	03-3407-2395
工藤建設株式会社	〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川四丁目33番地10	045-911-5300
株式会社 国際総合計画	〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山2-7-3 ITPケヤキビル	025-241-8588
株式会社 佐伯工務店	〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町1丁目319番地	048-665-4440
坂田建設株式会社	〒130-8522 東京都墨田区本所3-21-10	03-5610-7820
三友建設株式会社	〒192-0041 東京都八王子市中野上町4丁目39番2号	042-625-7661
公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター	〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル3階	03-6830-4357
公益社団法人 商業施設技術団体連合会	〒108-0014 東京都港区芝5丁目26番20号 建築会館	03-3453-8103
住友不動産株式会社	〒163-0819 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル19F	03-3346-1424
成友興業株式会社	〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10 京橋MIDビル4階	03-3538-4111
株式会社 総合資格	〒163-0557 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル3F	03-3340-5673
株式会社 染谷工務店	〒303-0022 茨城県常総市水海道淵頭町2982	0297-22-2871
株式会社 第一ヒューテック	〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目23番地	03-3359-8811
大豊建設株式会社	〒104-8289 東京都中央区新川1-24-4	03-3297-7001
株式会社 大米建設	〒901-0145 沖縄県那覇市高良3丁目1番地1	098-975-9090
タクトホーム株式会社	〒202-0021 東京都西東京市東伏見3丁目6番19号	042-451-6559
TAC株式会社	〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町3-2-18 TAC本社ビル4F	03-5276-8918
田中土建工業株式会社	〒160-0003 東京都新宿区四谷本塙町14番1号	03-3353-2131
TTC株式会社 タケダ事業本部	〒132-0034 東京都江戸川区小松川3-4-1 エクセルビル3F	03-3638-1281
東レ建設株式会社	〒530-8222 大阪府大阪市北区中之島3-3-3 中之島三井ビルディング19F	06-6447-5154
徳倉建設株式会社	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目18番22号 名古屋ATビル6階	052-211-8735
飛島建設株式会社	〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル5F	03-6455-8307
ドラパス株式会社	〒114-0023 東京都北区滝野川17-26-7	03-3916-3201
株式会社 内藤ハウス	〒407-8510 山梨県韮崎市円野町上円井3139	0551-27-2131
中野建設株式会社	〒105-0014 東京都港区芝3丁目42番9号	03-3456-4191
株式会社 ニチボウ	〒141-0022 東京都品川区東五反田1-9-5	03-3444-6241
一般社団法人 日本インテリア設計士協会	〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14	06-6262-1488
ベクターワークスジャパン株式会社	〒108-0075 東京都港区港南2-13-29 キャノン港南ビル7F	03-6719-7456
馬淵建設株式会社	〒232-8558 神奈川県横浜市南区花之木町2-26	045-712-4842
ミサワホーム建設株式会社	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号	03-5344-3307
武藤工業株式会社	〒154-8560 東京都世田谷区池尻3-1-3	03-6758-7123
株式会社 ライフ設計事務所	〒114-0013 東京都北区東田端1-7-3 田端フクダビル6F	03-3810-0830
株式会社 ローヤルエンジニアリング	〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-24-4	03-3959-7431

※五十音順

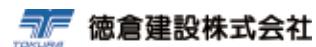


公益社団法人 商業施設技術団体連合会



'TORAY'

ZERO to WONDERFUL
東レ建設株式会社



SJIT 日本インテリア設計士協会





DIPLOMA 2024 卒業作品集・活動報告

2024年8月 発行



発行元

全国専門学校建築教育連絡協議会

<http://zensenkenkyo.jp/>

事務局

〒114-8543 東京都北区王子本町 1-26-17

TEL 03-3906-1211

制作

青山製図専門学校

〒150-0032 東京都渋谷区鷺谷町7-9

TEL 03-3463-0901

